

令和8年9月11日

保護者各位

鳥栖市立 麓小学校
校長 松尾 天

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和8年度全国学力・学習状況調査について

令和8年4月23日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率と同程度でした。
- ・「知識・技能」については、全国の平均正答率を上回っていました。しかし「思考・判断表現」については、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・領域別にみると、「書くこと」については、全国の平均正答率を上回っていましたが、「読むこと」については、全国の平均正答率と同程度で、「話すこと・聞くこと」については、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・問題別にみると、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になる話の構成を考える問題が最も全国の平均正答率を下回っており、課題が見られました。

(2) 算数について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「知識・技能」については、全国の平均正答率を上回っており、「思考・判断・表現」については、全国の平均正答率と同程度でした。
- ・問題別にみると、単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断をする問題が最も全国の平均正答率を下回っており、課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

- ・「毎日、朝食を食べている」「毎日同じくらいの時刻に寝る」「毎日同じくらいの時刻に起きる」と答えた児童は全国平均を上回っていました。このことから本校の児童は規則正しい生活を送れていることがわかります。
- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の質問では、全国平均を上回っていました。
- ・「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）」の質問に対して4時間以上と答えた児童が16.3%、3時間以上4時間より少ないと答えた児童が19.8%おり、長時間使用している児童が多いことがわかりました。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・今後も協働的に学ぶ時間を積極的に取り入れることに加え、「振り返り」の時間を充実させていきます。
- ・「授業づくりのステップ1・2・3」を活用し、授業改善を図るとともに、1時間の授業の流れをできる限り統一したり、電子黒板を活用して内容を視覚的に捉えさせたりするなど、授業のユニバーサルデザイン化に引き続き取り組みます。
- ・タブレット PC については活用場面を広げることで、児童が自主的に学習に取り組んだり、友達との協働的に学んだりしようとする意欲をさらに高めていきます。
- ・家庭学習については、家庭と連携し、児童が自分の興味関心が高いものだけでなく不得意と感じている内容を中心に自主学習に取り組むよう図っていきます。

※家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習時間をつくってください。

【学習時間：10分×学年数字（「家庭学習の手引き」より）】

- ◎学習する時間や時間帯を決め、取り組ませることで学習習慣を身に付けさせましょう。
- ◎読書にも進んで取り組ませましょう。
- ◎テレビを見る時間、ゲームをする時間、タブレットPC等を使用する時間を決め、長時間にならないようにしましょう。
- ◎ドリル学習やテスト直し等の復習だけでなく、予習にも取り組ませましょう。
- ◎苦手な分野にもチャレンジしましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎今後も引き続き、早めに起床させ、必ず「朝食」を食べさせるようにしましょう。
- ◎学校での出来事や話題になっているニュース、読んでいる本の内容について話し合いましょう。
- ◎お子さんががんばったことや良くできたことを、積極的にほめましょう。